

トイレに生理用品常備を

大阪市議会委 山中議員が要求

日本共産党の山中智子大阪
市議は10日の市議会教育

こども委員会で、公共トイレに生理用品の常備を求める陳情について「トイレットペーパーのように常備するのが流れ。個室への配備を進めるなど、より使いやすいいものにしてほしい」と採択を求めました。

教育委員会は、学校での配布状況について「小中学校全校で行っている。各校



質問する山中議員＝
10日、大阪市議会

の実情に合わせて整備している」と答弁しました。

山中氏は「急に生理になって困った経験のある人は多い。また、特に若い女性や低所得の人にとって生理用品は負担で、生理用品が買えない、親に買ってといにくい、という声も耳にする」と述べ、学校のトイレにトイレットペーパーがなかった時代に設置を求めた経験を振り返り「置いたらいらずらする」「管理できない」という議論を経て、今ではどこでも当たり前前に常備されていると指摘。「近い将来、生理用品が常備される世の中が実現するように議論を前に進めてほしい」と強調しました。